令和7年度 授業改善を図るための推進プラン全体計画

- 〇教育基本法 〇学習指導要領
- ○東京都教育目標
- 〇小平市教育委員会教育目標
- 〇小平市教育振興基本計画

学校教育目標

- 〇元気でじょうぶな子
- ○よく考えてやりぬく子 ◎仲よくできる子
- ○進んで働く子

- 小平市立小平第六小学校
- ○学校、地域の実態
- ○保護者の期待や願い
- ○地域の期待や願い
- 〇期待される児童像

学校経営方針

児童が自分らしく学ぶことができる教育活動、心地よく過ごすことができる学習環境づくりを行う。

- ・確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成を通して児童の「生きる力」を育む。
- ・一人 1 台端末を効果的に活用しながら、自分の興味・関心に基づいて学び方を選びながら学習を進める体験を重ねられる授業づくりに取組む。
- 特別活動を充実させ、児童が他者と関わりながら考え、議論する活動を通して、よりよい生活や人間関係を築こうとする心を育てる。
- ・コミュニティ・スクールとして、地域の皆様と共に児童を育てる教育活動を行う。
- ・教員と専門職員がチームとして協力しながら効果的・効率的な学校運営を行う。

各教科の指導の重点

- ・主体的・対話的で深い学 びの実現に向けた指導の 充実を図る。
- ・習熟度別指導を効果的に行っとともに、個に応じた指導を推進し、基礎・基本の定着と確かな学力の伸長を図る。

総合的な学習の指導の重点

- ・体験を通して学ぶ探究的な 学習を系統的に位置付け る。
- 地域の方、外部の人材など 多様な人々から学ぶ体験 を重視する教育活動を行 う。

目指す児童像

- •自ら課題を見付け解決することを通して、主 体的に判断し実践できる子
- ・集団の一員として協力し合い、自他を尊重 し、互いに認め、高め合う子
- ・ 自他の生命を大切にする子
- 社会生活の基本ルールを身に付け、社会に貢献しようとする子

道徳教育の指導の重点

- ・生命尊重の視点に立った「いじめ防止授業」など、考え、 議論する場を取り入れながら 人権課題に対応した取組を行う。
- 「特別の教科道徳」を要として行事等との関連を考慮し、 教育活動全体の中で道徳教育の充実を図る。
- 道徳授業地区公開講座を通して家庭・地域との連携を図る。

特別活動の指導の重点

- ・主体的・実践的に活動する力、 人間関係を形成する力を育成 する。
- 人との関わりを重視した活動を充実させ、多様性を認め合える集団を作る。

進路指導の重点

- 発達段階に応じて学習活動で触れ合う様々な 立場の外部人材からの学びを通して、多様な価 値観に触れさせる。
- ・目標を立て、実施、振り返る活動を行事や学期 の区切りにおいて設け、自己肯定感を育みと将 来への希望をもたせるキャリア教育を推進す

生活指導の重点

- ・多様性を包摂し児童にとって心地よく過ごせる居場所づくりを行うことを念頭に、学習環境を整える。
- 相談体制の工夫や定期的なアンケートの活用を通じて、情報共有を行い、早期発見・機動力のある対応を行う。

〈本校の授業改善に向けた視点〉

指導内容・指導方法 の工夫

- ・板書やノートを活用した 学習と一人 1 台端末を活 用した学習を、発達段階 に応じてバランスよく取 り入れた授業を実施す る。
- ・習熟度別指導を効果的に行うとともに東京ベーシック・ドリル、学習者用 情報端末等 ICT 機器を活用する。

教育課程編成上の 工夫

- ・高学年を中心に、各教 員の専門性を活かし た教科担任制を継続 して実施する。
- 予定授業時数を明確に し、実施授業時数を確 実に確保する。

校内における研究や 研修の工夫

- ・「心地よく関わり学び合 う六小の子ども」をめざ し、自分の考えを表現さ せる工夫及び、小集団の 関わり合いの充実を重視 して教材研究や指導法を 丁夫する。
- ・OJT を通して、主体的・対話的で深い学びを充実させるための指導の工夫を学ぶ。

評価活動の工夫

- ・ 六小の評価規準に基づ き、学習指導を振り返り、 評価し、改善を図る。
- ・高学年における教科担任制においては、各教員の専門性を活かした適時適切な評価を行うとともに、児童を多面的に見て支援していけるよう学年間の情報共有を密にす

家庭や地域社会 との連携の工夫

- ・学校経営協議会を通 して地域と連携し た教育活動を推進 する。
- ・オンラインフォーム を活用し、家庭との 情報共有を円滑に 行う。
- ・ホームページ等で適 宜学校の取組の様 子を発信する。